

最高顧問挨拶



綿貫民輔

全国道路利用者会議最高顧問

私は平成7年の5月の総動が実施できましたこと、会が福田一会長から当会議に、厚く御礼を申し上げるの会長を引き継ぎました。次第でございます。

私が就任いたしましたことが、今年をもちまして会長を退くことに、ただいまの20年の間には色々な事が総会におきまして、役員改選が図られ、ご承認をいただきました。

この間、会員各位にはもちろんのこと、多くの関係者のご支援によりまして、道路整備の促進を求めると、また、平成25年3月11日

には東日本大震災があり、この時には、正に「命の道」ということで道路整備がいかに重要であるかということが立証されました。

しかし、いざいざいしたしましても本日の総会が70回目というところでございます。今年には戦後70年と云われておりますが、戦争で破壊された日本を再建するために、どうしても道路の整備が最優先するということ、建設行政の力になるためにできたのが全国道路利用者会議でございます。

この間、この会議が非常に大きな後盾となってきたのは皆さんご承知の通りでございます。

しかし、誠に残念なことながら、この道路整備の歴史の中で、有料道路制度、

道路特定財源制度等の色々な制度をもって建設行政をバックアップしてきたのでございますが、ちょうど私が在任中の平成20年には道路特定財源が一般財源化され、翌年には、暫定税率を廃止したまま特定財源廃止となる、誠に矛盾した事態が起りました。

これは私から申し上げるまでもなく、長年支えてきた道路財源制度をこの様な形に変えたのは誰だったのか。実は自由民主党だったんです。私も残念でなりません。そういう歴史の中で私は苦しい思いもしてまいりましたが、しかし道路の整備がいかに大事であるかということ、今も昔も変わる事はございません。

今後この全国道路利用者会議がバックアップをし

て、新しい道路整備に対する大きな力を生み出していかなければならないのではないかと考えているところでございます。

本日、全国からご参集いただき、暫定税率を廃止したまま特定財源廃止となる、誠に矛盾した事態が起りました。

これは私から申し上げるまでもなく、長年支えてきた道路財源制度をこの様な形に変えたのは誰だったのか。実は自由民主党だったんです。私も残念でなりません。そういう歴史の中で私は苦しい思いもしてまいりましたが、しかし道路の整備がいかに大事であるかということ、今も昔も変わる事はございません。

今後この全国道路利用者会議がバックアップをし

会長挨拶



古賀 誠

全国道路利用者会議会長

本日の総会におきまして、新たに会長に選任されました古賀誠でございます。

以来、67年間にわたり、我が国の道路整備の促進に取組み、数多くの功績を残してきた、極めて歴史・伝承活動に、大変暖かい、統のある会議でございます。また積極的なご支援とご協力を賜っております。誠に感謝申し上げます。

また、国会開会中にもかかわらず、西村国土交通副大臣、広田委員長をはじめ、衆参の国会議員のご出席を賜り厚く御礼を申し上げます。

協力を切にお願いを申し上げます。戦後の荒廃した国土から立ち上がるには、先ずは道路の整備から、を合言葉にこの会議は、スタートさせていたいただきました。特筆すべきことは、受益者負担の原則を元にした「道路特定財源制度」「有料道路制度」の創設であります。

道路整備を財政面から支えてきた、この二本の柱により、立ち遅れた道路の整備水準を、皆様方の大変なご協力とご支援によりまして、どこにまで今日まで全国的に引き上げることができました。まさに、当会議の活動によるものである、私自身はそのように確信しているところであります。

しかしながら、平成21年度には道路特定財源制度は廃止され、一般財源となり、その後も暫定税率の維持、消費税のアップ、地球温暖化対策税等、税の負担だけ

来賓挨拶



西村明宏

国土交通副大臣

ご紹介を賜りました国土交通副大臣の西村明宏でございます。

本日は、この時間帯に衆議院の本会議が開催されておりまして、太田国土交通大臣がそちらから離れることができないというところで、代わりまして挨拶に上がらせていただいたところでございます。

長年、ご指導賜りました。綿貫民輔会長から古賀新会長という形でこれからも、私も東日本

大震災の当日、まさに宮城県で被災いたしました。先ほど「命の道」という言葉がありましたが、防災・減災のためのしっかりとした道づくりをやっていかなくてはなりません。

今、被災地においては、三陸沿岸道をはじめとした復興道路・復興支援助道路の整備を進めております。また広田参議院国土交通委員長の地元の高知県などの様にこれから地震や津波が起きるのではないかと予測されている地域がたくさんございます。そうした地域のまさに避難としての道づくり、それをしっかりとやっていくことが、日本国民の命を守る大事な事だと考えております。

そしてもう一つは、インフラの老朽化対策でございます。我が国が戦後、大きく発展していき、橋梁や道

来賓挨拶



広田 一

参議院国土交通委員長

ただいまご紹介いただきました参議院国土交通委員長の広田一でございます。

本日は全国道路利用者会議第67回定時総会のご盛況、心からお祝い申し上げます。また本日ご出席の皆様方、お一人お一人が道路施設の推進のために尽力をされておりますことを心より敬意と感謝を申し上げます。

さて日本の自動車保有台数というのは8,000万台を超えてきたところであります。このことが示すように、道路の整備、また利便性の向上、これは経済活動ももちろんのことでございます。先ほど西村副大臣の方からもお話がございましたように、地方へ行けば行くほど生活者のための生活道路という観点からも必要不可欠なものでございます。

また、ご挨拶の中にも東日本大震災についての件がございました。当時、私は防衛大臣政務官を務めさせてもらっており、陸海空の

自衛隊の皆さんと一緒にこの困難に立ち向かったわけでございます。そういった時に、わずか一週間で10万人もの自衛隊員が被災地に入る事が出来た。これはまさに高速度道路が使えたこと、そして国土交通省をはじめ関係各位の皆様方の尽力で道路を再開することが出来たこと、こういったことによつてこの様な大規模な移動そして人員を投入することが出来たと思っております。

そういった教訓を生かして、先ほど西村副大臣の方からもお話がございましたように、地方へ行けば行くほど生活者のための生活道路という観点からも必要不可欠なものでございます。

また、ご挨拶の中にも東日本大震災についての件がございました。当時、私は防衛大臣政務官を務めさせてもらっており、陸海空の自衛隊の皆さんと一緒にこの困難に立ち向かったわけでございます。そういった時に、わずか一週間で10万人もの自衛隊員が被災地に入る事が出来た。これはまさに高速度道路が使えたこと、そして国土交通省をはじめ関係各位の皆様方の尽力で道路を再開することが出来たこと、こういったことによつてこの様な大規模な移動そして人員を投入することが出来たと思っております。

そういった教訓を生かして、先ほど西村副大臣の方からもお話がございましたように、地方へ行けば行くほど生活者のための生活道路という観点からも必要不可欠なものでございます。

また、ご挨拶の中にも東日本大震災についての件がございました。当時、私は防衛大臣政務官を務めさせてもらっており、陸海空の自衛隊の皆さんと一緒にこの困難に立ち向かったわけでございます。そういった時に、わずか一週間で10万人もの自衛隊員が被災地に入る事が出来た。これはまさに高速度道路が使えたこと、そして国土交通省をはじめ関係各位の皆様方の尽力で道路を再開することが出来たこと、こういったことによつてこの様な大規模な移動そして人員を投入することが出来たと思っております。